

女性に寄り添った相談等支援業務【茨城県つくばみらい市】

地域の実情と課題

当市では、女性が抱える様々な悩みについて、相談に応じ支援を行う女性相談を実施しているが、孤独・孤立を強いられている女性の実情を把握するまでには、至っていない。

新型コロナウイルス感染症の影響により、望まない孤独・孤立を強いられている女性が増えていることが懸念されるため、早急に実態を把握し、望まない孤独・孤立を防ぎ、必要な行政サービスへと繋ぐことで、社会に戻れるような環境を整えていく必要がある。

目的・目標

新型コロナウイルス感染症の影響により、望まない孤独・孤立を強いられている女性の実情を把握する。早い段階で要支援者と接触することにより、アウトリーチ支援を含めた相談等を行い、早期に社会との繋がり回復を促す。

【目標】

- ・相談事業実施 80回
- ・ピアサポート実施 8回

事業の特徴

相談方法は、対面のほか、メール・専用ダイヤル・LINEを活用した相談を実施

女性の実態把握としては、日用品無料配布会を開催し、来場者への聴き取りやアンケートを実施

少人数でワークショップを行いながら、参加者が悩みを共有する等、不安を抱えた女性たちが互いに支え合うことができる居場所づくりを実施

事業の効果

相談事業実施回数及びピアサポート実施回数の目標を達成。

新型コロナウイルス感染症の影響により、望まない孤独・孤立で不安を抱える女性の実情の把握や支援が必要にも拘わらず、支援を受けることができない要支援者に対して、柔軟な支援を実施できた。

今後の課題

LINE等による非対面の相談が、一定の程度有効であることがわかったが、今後も同様の相談を継続するには、体制等の問題があるため、検討する必要がある。

事業の概要

- ・望まない孤独・孤立を強いられている女性の実態把握
日用品無料配布会を開催し、来場者への聴き取りやアンケートを実施
- ・要支援者に対する相談
相談窓口・メール・専用ダイヤル・LINEで実施
- ・居場所づくり
少人数でワークショップを行いながら、参加者が悩みを共有する等不安を抱えた女性たちが互いに支え合うことができる居場所（ピアサポート）づくりを実施

